

道徳教育全体計画

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領

学校の教育目標
豊かな心と健やかな体を持ち、 自ら考え、 行動できる子どもたちの育成

生徒の実態	・素朴である。 ・自己中心的に捉え、他者尊重が不十分である。 ・仲間としての絆が弱い。
めざす生徒像	・意欲的に学び、考え、挑戦する子ども ・互いに尊重し、認め合い、協働する子ども ・物事に対し真摯に向き合い、責任感を持ち行動する子ども
地域の実態	・学校教育には関心が高く大変協力的である。 ・代々地元で住まれている方と新興住宅地の方が混在されており、地域の行事や繋がりにばらつきがある。

特別活動	
学級活動	学級や学校の生活上の諸課題を見出し、自主的に取り上げ、協力して課題解決していく自発的、自治的な活動を通して、よりよい人間関係の形成や生活づくりに参画する態度を養う。
生徒会活動	全校の生徒が学校におけるよりよい生活を築くために、異年齢の生徒同士で協力し、計画を立て役割を分担し、運営することに自主的、実践的に取り組む態度を養う。
学校行事	連合スポーツ大会や合唱コンクール、修学旅行、地域フィールドワークなどの活動を通して、よりよい人間関係の形成や地域を愛し社会の形成に参画するなど自律的態度を養う。

道徳教育の重点目標	
・より高い目標を設定し、その達成をめざし、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。 ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に学び、自らを高めていくこと。 ・生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	

各学年の指導の重点	
1年生	・高い目標の達成をめざし、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。 ・自分の考えた意見を相手に伝えるとともに、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心を育む。 ・生命の尊さについて、自己の生命の尊厳、尊さについて深く考える態度を養う。
2年生	・より高い目標の達成をめざし、希望と勇気を持ちながら、粘り強く取り組むこと。 ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学ぶ。 ・生命の尊さについて、生きていることのありがたさに深く思いを寄せる態度を養う。
3年生	・より高い目標の達成をめざし、困難や失敗を乗り越え最後までやり遂げようとする強い意志を養う。 ・いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていく。 ・生命の尊さについて、あらゆる生命を尊重する態度を養う。

生徒指導	
・共感的な生徒理解を図るとともに、生徒一人一人が目標をもって将来を展望し、自己実現を図ろうとする態度を養う。 ・人権意識や感覚を高め、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度の育成を図る。	

豊かな体験活動	
・美化活動や校外学習等を通して、道徳的实践を促し積極的に行おうとする態度を養う。 ・地域と連携した行事や活動で地域社会の一員としての自覚を育む。	

道徳科の指導方針	
道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としてよりよい生き方についての考えを深める授業をめざす。 ・「考え、議論する道徳」への質的転換に向けた指導方法の研究 ・人権教育や教科等との連携を進め、豊かな人間性の育成 ・学習で得た知識や判断力等を生かし、実践できる子どもの育成 ・小中連携を充実させ、地域9年間を見通した子どもの道徳性を高める指導方法の研究	

各教科	
国語	言語活動を通して、正確に理解し適切に表現しようとする資質・能力を養う。
社会	社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察し、主体的に解決しようとする態度を養う。
数学	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、生活や学習に生かそうとする態度を養う。
理科	自然の事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探求しようとする態度を養う。
音楽	音楽活動を通して、音楽を愛好する心情や感性を育み豊かな情操を培う。
美術	表現や鑑賞の活動を通して美術を愛好する心情や感性を育み豊かな情操を培う。
技術・家庭	生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
保健・体育	生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。
外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

総合的な学習の時間	
・探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して、事故の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。 ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むことで、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	

教育環境の整備	
学級の信頼関係や温かい人間関係を基盤とした集団を育むとともに、道徳的实践意欲を高める環境づくりに努める。 ・生徒と教員、生徒同士の心の交流 ・教育相談活動の充実 ・あいさつ運動の推進 ・校内美化の推進	

道徳教育の推進体制	
全教員が協力して道徳教育を展開する。 ・校内研修の充実と活性化 ・道徳用教材の整備・充実・活用 ・道徳教育の情報提供や情報交換	

家庭・地域等との連携	
家庭・地域社会等と共通理解を深め、相互の連携を深め、協力体制を整える。 ・授業参観などを通して、心の教育についての交流を行う。 ・環境浄化活動などの地域行事に参加するなど子どもたちの豊かな心の育成のために相互理解を深める。 ・地域教材の活用を充実させる。	